

内閣府・日本科学未来館オンライントークイベント  
「あなたはどのように思いますか？研究のためのヒト受精卵の作成」結果報告

1. 概要

日時：2021 年 9 月 4 日（土）14:00～15:30

イベント名：オンライントークイベント「あなたはどのように思いますか？研究のためのヒト受精卵の作成」

出演：原山優子氏（国立研究開発法人理化学研究所理事）／加藤和人氏（大阪大学大学院医学系研究科医の倫理と公共政策学分野教授）／高橋明子氏（千葉大学大学院医学研究院特任助教）／詫摩雅子氏（日本科学未来館科学コミュニケーション専門主任）

内容：科学コミュニケーターからヒト胚についての基本情報の提供、二人の元生命倫理専門調査会委員から、これまでの日本での議論の経緯と、国際的な動きについて紹介後、事前アンケートや視聴者からのコメントを見ながらの意見交換を行った。

配信方法：ニコニコ生放送 <https://live.nicovideo.jp/watch/lv332969359>

2. 参加者

番組終了時での累計の視聴者数：3,773 名（コメント数：816）

3. 結果

- ・ 生放送の視聴者は 3,700 人を超え、多くのコメントが寄せられた。また、イベント前の約 1 か月間に行った事前アンケートでは 307 件の回答があった。
- ・ 高橋氏は、科学コミュニケーターとして、ヒト受精胚とは何か？ここで論点となっている受精胚はどうやって入手されるものか？といった基本的な部分の説明を通じ、ヒト受精胚を用いる研究や新規胚の作成などについて前提となる知識を説明した。次に、原山氏は、生命倫理専門調査会におけるヒト受精卵の使用に関する日本のこれまでの議論について、加藤氏は、国際的なルール作りについて、それぞれ、事前アンケートに寄せられた疑問や意見に触れながら説明があった。
- ・ イベント中、視聴者から「技術がはやくなりすぎて議論がおいつかないね」や「新規胚と余剰胚の本質的な違いが判りません」など、新規胚による研究についての様々な質問や意見が寄せられ、出演者から適宜、解説やコメント、考えなどが紹介されるなど、視聴者と出演者との間でやりとりを行うことができた。
- ・ 番組後のアンケートでは、とても良かった 78.2% / まあまあ良かった 17.1% / ふつう 9.8% / あまり良くなかった 0% / 良くなかった 0% であった。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の状況下において、対面でのイベントを開催することはできなかったが、オンラインイベントの参入障壁の低さやアクセスの良さ、匿名性を保った上での意見・疑問の表明のやすさが功を奏し、多くの視聴者に、生倫調における議論の内容を届け、質問などに答えることができたと考えられる。事前のアンケートも含め、ヒト受精胚による研究についての意見、研究のための新規胚を作成することについての意見、研究の推進の重要性についての意見、さらには国際的な動向も

踏まえて対応すべきといった観点での意見など、幅広い意見を伺うことができたと考えられる。

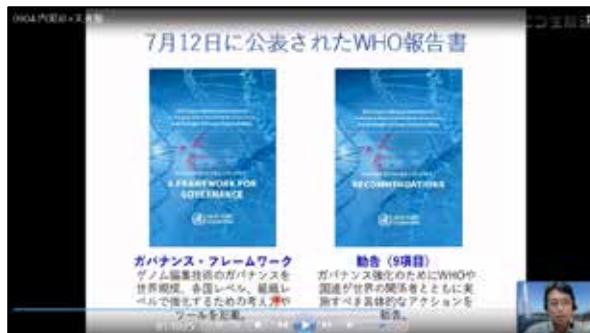
#### 4. 番組の様子



(オープニング画面)



(原山先生講演)



(加藤先生講演)



(アンケート回答の紹介)



(視聴者のコメントに意見を述べる)



(スタジオからエンディングトーク)

#### 5. 番組中に寄せられた視聴者のコメント (抜粋)

- ・ 倫理観と合理性の戦いになりそうな話ですね
- ・ どちらにせよ採取済の使わなければ廃棄するもの、ということではあるのですね
- ・ ヒトはいつからヒトなのか？とかも関わってきそう
- ・ 倫理が無い国でどんどんやって先に進んでそうだから困る
- ・ 個人的な意見だと国際競争考えたらやるしかないと思う 海外はどういう見解なんだろう
- ・ 技術がはやくなりすぎて議論がおいつかないね

- ・ 日本で禁止しても他の国がやってたら日本もやらざるを得なくなりそう
- ・ ゲノム編集を行った時、その生命の健康にデメリットとかあるのかな
- ・ 新規胚と余剰胚の本質的な違いが判りません。
- ・ 研究者が余剰胚をどう使っているのかをどうやって監視しているのですか？
- ・ まぁゲノム編集ベビー認めたら優生思想にも繋がるからね。是非はともかく世界的な流れに逆らうことになる
- ・ なんか技術倫理の授業で見た記憶あるな
- ・ 受精卵は人間になる可能性のある卵だから抵抗はある
- ・ 自分や家族がドンピシャその病気だったら研究してほしいと強く思うかも
- ・ 難病持ってる身としては正直病人の意見優先してほしいと思うことが多い。健康な人間が何を議論してるんだと思ってしまう。
- ・ 重要なのはいろんな考え方があることを認識することかもな
- ・ フランスの倫理委員会のようなものが何年か置きに見直すということや市民から幅広く意見を求められるのは素晴らしい。

以上